

蕪 工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校
第70号

総務部
2010.08.03

第1回体験入学開催

ガンバレ野球部・高校野球

蕪崎サッカーフェスティバル

フェアフィールド市の高校生と交流



中学生第1回体験入学が開催



7月17日(土)に、第1回中学生体験入学及び学校説明会が行われました。中学生149人・保護者82人・中学校教職員12人に参加して頂き、①文鎮の製作 ②ラジオの製作 ③アニメーション製作 ④電子顕微鏡・香料の合成 ⑤リニアカーの製作 ⑥最新自動車技術の体験を行いました。また保護者と教職員には、学校施設見学と学校説明会を開きました。本校や工業高校の理解及び進路選択に役立てば幸いです。第2回目が8月4日(水)に計画されていますので、都合により今回参加できなかった方はご利用ください。

電子機械科

ものづくりの基本となる加工技術を学ぶ電子機械科では、黄銅(真ちゅう)の丸棒を立てフライス盤と横フライス盤を使って、文鎮の製作をしました。加工機械を用いて金属を削るという、貴重な体験を通し、ものづくりの楽しさを体験していただけたと思います。



電気科

ものづくり産業の中核となる電気技術を身につけた工業技術者を育成する電気科は、電力技術、通信技術、制御技術、情報技術を学習します。今回は、はんだごてを使用してラジオを製作しました。はんだ付けは経験のある生徒がいて、あまり時間はかかりませんでした。アンテナには雨傘の骨組みを利用し、90%以上の生徒が何らかの放送を聞き、うれしそうに帰宅しました。ものづくりが好きで電気に興味関心があり、多くの資格取得を目標にしている生徒は本校の電気科を希望してください。



情報技術科

情報技術と電子技術に関する基礎的な知識を学び、さらに実践的な経験を通してより理解を深めます。そして、コンピュータの仕組み、プログラムの作り方やロボットなどの情報技術や制御技術、また社会に出て即戦力なるビジネス・アプリケーションを学びます。通信などのネットワーク技術も有効に利用し、これからの情報化社会に自ら対応できる技術者を育成します。



環境化学科

環境化学科では、環境を含めさまざまな測定し、化学でものを造りだすことを中心に、現代の工業社会の中核の一つである化学分野の学習を深めています。今回は「電子顕微鏡」を使って表面観察を行いました。またガソリン・軽油などの既存燃料とその代用品として注目されているエタノール・BDFの燃焼実験等をしながら、これからの燃料について学習をしました。





理数工学科→制御工学科

工業分野において、技術の複合化・融合化が進み、幅広い分野の技術を有機的に活用できる人材が求められています。制御工学科では自動化システムの基礎である電子回路素子を学び、その応用であるロボット制御技術を中心とした学習を行います。また、ものづくりの基礎である機械技術を広く体得し、制御プログラム開発から自律走行ロボット等を製作します。

システム工学科

システム工学科も今年で新設以来5年が経過しましたが、その中で課題研究・部活動を通し、省エネカー製作がよい成果を残してきています。今回の体験入学では、1リットルあたり1100km以上も走行できる省エネカーの説明、走行実験を行いながらシステム工学科のアピールを行いました。



ガンバレ野球部

第92回全国高等学校野球選手権山梨大会に出場しました。初戦の対戦相手は、1回戦を山梨高校に勝利し勝ち上がってきた桂高校でした。相手チームへの対策も万全で臨んだ一戦でしたが、終始桂高のペースで試合が進み、結果は0-7(7回コールド)で敗れました。我がチームにも反撃のチャン



スは何度か訪れましたが、得点につなげることが出来ず悔やまれる試合となりました。しかし、選手たちも3年生を中心に最後まで決して諦めることなく戦い続けられたことは、1・2年生の新チームにも受け継がれ、来夏は必ず、小瀬球場に葦工の校歌を轟かせてくれるでしょう。

葦崎サッカーフェスティバルに参加して

今年で30回を迎えた武田の里サッカーフェスティバルに参加しました。地元の学校として毎年出場し、他の出場校が日本で「名門」といわれる強豪校ばかりでの対戦は、よい経験として冬の選手権に活かしたいと思います。3日間の中で、思うような結果が残せませんでした。大量失点しても諦めず最後まで戦う姿勢は近年にない「葦崎工業高校」というチームを作り上げていけると感じました。10月下旬の選手権大会に向け、チームコンセプトを明確にし、チームとして戦えるように頑張っていきたいと思います。



フェアフィールド市の高校生が葦工生と交流

7月15日(木)の午後、米国カリフォルニア州フェアフィールド市の高校生6人が本校を訪問しました。この事業は、葦崎市が国際交流事業として、姉妹都市高校生にホームステイをして交流するという目的で行われています。歓迎セレモニー後、調理室で生徒と教員の手作りで日本の食を堪能してもらいました。日本文化に興味がある生徒で、箸を使うことに違和感はなかったようです。その後、弓道部・剣道部・太鼓部・応援の練習風景を見学し体験も行いました。そして全員が浴衣に着替え、茶道部の呈茶を楽しみました。特に5名の女子生徒は満面の笑顔で、着物文化やお茶に興味を示していました。交流会では、書道教室と折り紙教室を行いました。言葉の敷居など感じさせない和やかな雰囲気となり、短い時間でしたが心温まる交流ができました。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp